長野市公共交通活性化・再生協議会　自転車活用推進部会　議事概要

1　開催日時　令和６年 11 月１日（金）　午前 10 時 00 分～午前 11 時 45 分

2　開催場所　長野市役所第一庁舎５階　会議室 151

3　出 席 者　出席委員６人（欠席委員１人）、事務局職員７人、受託業者２人

4　次　　第　１　開　　会
　　２　あいさつ
　　３　協議事項
　　(1) 第２次長野市自転車活用推進計画　キャッチフレーズ案について
　　(2) 第２次長野市自転車活用推進計画（案）について
　　(3) 自転車ネットワーク計画について
　　４　その他

【３　協議事項】

(1) 第２次長野市自転車活用推進計画　キャッチフレーズ案について

事務局から「資料１」に基づき説明を行った。

【意見等】

「資料１」Ｅ案のキャッチフレーズで決定

(2) 第２次長野市自転車活用推進計画（案）について

事務局から「資料２」に基づき説明を行った。

◆Ａ委員

・長野駅善光寺口の駐輪場は利用率が向上しているのを感じている。オーバーフローする事態は想定しているか。

事務局

・長野駅自転車駐車場は来年度から長寿命化改修工事を予定しているおり、ラックの規格が大きくなるため駐輪可能な台数が減る見込み。利用状況によっては、放置自転車の撤去などの対応を増やす必要があると考えている。敷地と高さの関係で、現

状より拡張することは難しい。
・近隣に駐輪場のための適地がない。将来的には子どもの人口が減るので、高校生の需要が減り、日中に利用する人とのバランスが取れていくと予測している。大規模な店舗を建てる際には駐輪スペースの確保をお願いしており、店舗利用者は店舗の駐輪場利用も周知していく。

◆Ａ委員
・市営駐輪場がいっぱいになると、以前のように路上に放置される自転車が出てくる。先手で動いていただきたい。

◆Ｂ委員
・「活かす」のピクトグラムは音符がついており、ヘッドフォンで音楽を聞いているように見える。また、その下の「走る」のピクトグラムは走っている様子を表す線が多く、スピードを出し過ぎているようで違和感がある。

◆Ａ委員
・自動車から自転車に切り替えてもらうためには、自動車で 30 分のところを自転車なら 25 分で着けるというような、自動車よりも自転車が早いというイメージが望ましい。「走る」のピクトグラムは、これでも問題ないように思う。

事務局
・ピクトグラムはイメージが大事であるので、他の案も検討する。次回部会までに案をお示しする。

(3) 自転車ネットワーク計画について

事務局から「資料２」に基づき説明を行った。

【意見等】
◆Ｃ委員
・p. 25 整備形態の３種類のイメージ図に自転車通行可歩道が含まれていないのはなぜか。
・p. 26 の整備計画の中には県道の延長も含まれている。令和 11 年度までに整備を進めることになっているが、県の整備計画との整合は確認しているか。７番の三才大豆島中御所線は４車線化の中で確実に実施していく予定だが、他の区間についてはどうか。

事務局

・p. 25 の自転車通行可歩道についてのイメージ図がない点については、現行計画でも載せておらず、国土交通省のガイドラインに載っている整備形態を抜粋している。自転車が通れる歩道というのがイメージしづらいところがあるので、掲載については工夫する。

・p. 26 の県道の整備実施予定については、県と改めて調整する。

◆Ｄ委員

・ガイドラインについて補足すると、前回のガイドラインでは、車道混在において矢羽根の上に車が載っていなかったが、今回はあえて車を載せた画にしている。これは自転車は車道を通行し、車道では車と自転車で譲り合うということを意図している。これまでは自転車は歩道を通らせてもらっていたが、今後は車道を譲り合って走行する、という意識付けを狙っている。

事務局

・自転車ネットワークの整備年次に関してはそれぞれで協力し合って進めたい。交差点の接続方法は非常に悩ましいところがあるので、警察の協力も得て対応していきたい。

◆Ａ委員

・国、県、警察で協力しつつ、他市とも連携を図りながら自転車通行空間の整備を進めていけると良い。長野市はこのような取組を進めていることを他市にアピールすることもできる。

事務局

・自転車ネットワークについては再度調整する。全体のマナーを周知する機会としてもこの計画を使えれば良いと考えている。

【４　その他】

11月下旬～12月下旬にパブリックコメントを予定している。

次回の自転車活用推進部会は２月上旬に開催予定。

午前11時45分終了